

令和6年度第2回大和市消防運営審議会議事録

日時：令和7年2月19日（水）

午後2時00分から

場所：消防本部3階第1会議室

○出席委員 高橋会長、井上職務代理、小菅委員、北砂委員、樋口委員、森園委員、清水委員、小泉委員、友野委員、木村委員（計10名）

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

（1）消防本部各課の主要事業の報告

- ① 消防総務課
- ② 警防課
- ③ 救急救命課
- ④ 予防課
- ⑤ 指令課
- ⑥ 消防署管理課

※各所管課長より説明

質疑等

委 員：都市間等災害協力推進事業について、最近では地震の多さも懸念されますが、予算に不足が生じる心配はないのでしょうか。

警防課長：災害対応に必要な資機材は計画的に整備をしています。実災害の際は、災害程度や必要に応じて、補正予算や予備費による対応を含めて検討をすることになると考えています。

委 員：消防職員研修事業にある新任消防長・学校長科とはどのような研修でしょうか。

消防総務課長：消防長になる職員が受ける研修です。消防吏員が消防長になる場合には受講しませんが、事務職員が消防長になる場合に受講します。

委 員：消防職員採用事務にて、女性消防吏員の割合を5%にとの話でしたが、これはどのような数字でしょうか。

消防総務課長：総務省消防庁から発信されたもので、女性消防吏員の割合を5%とするよう

に指針として示されております。本市でも、職員定数に対する5%を参考に採用事務を進めております。

委員：消防職員の合同訓練に関して、山などの場所で行っているものを目にすることが多いのですが、大和市内では火災が多いと思いますので、大和市に見合った訓練は実施されないのでしょうか。

警防課長：今回報告した関東ブロックの訓練は、関東地区の多くの地域と一緒に実施しているもので、年度により内容も様々です。その他に、神奈川県での訓練もあり、そちらでは火災を想定した訓練も実施されています。

委員：AEDは市内に500箇所くらい設置されているとのことですが、さらに増やす計画はないのでしょうか。自宅が住宅地にあるのですが、施設ではない場所への設置などは考えてないのでしょうか。

救急救命課長：現在、市内では半径240メートルの中に1台はAEDが設置されています。どなたでも使える状況が求められているものと考えておりますが、AEDの設置には管理面で防犯上の課題があります。今後もコンビニや駅など不特定の人が集まる場所を中心に、やまとAED救急ステーションの整備を進めていきます。

委員：中学生への救命講習は重要だと思いますので、できれば市内全校で実施していただきたいと思います。また、火災予防についても、高齢者向けの広報は有効であると感じます。

予防課長：火災予防週間に合わせて、高齢者宅への訪問診断も実施しています。実際の宅内では、コンロ廻りやタコ足配線などを確認して、具体的なアドバイスを行っています。自宅への訪問には懸念を示される方も多いのが実態ですが、今後も可能な限り継続していきたいと考えています。

委員：地域防災訓練の実施回数が増えるのはよいことですが、その分消防職員の負担にならないでしょうか。自治会単独での実施はできるのでしょうか。

管理課長：訓練を希望する自治会に対して、合同開催への働きかけは行っておりませんが、一定程度の参加者にお集まりいただければ、訓練の種類を増やすことにより、充実度がさらに高まるものと思います。

4. その他

(1) 令和6年(1月～12月)の災害概要(速報値)

※管理課長より説明

質疑等

委員：火災原因のうち「こんろ」によるものは、携帯用のこんろも含まれているのでしょうか。

管理課長：家庭用のこんろが主なものであり、実際にも携帯用こんろによる火災はなかったものと認識しています。

(2) 救急状況調べ(速報値)

※救急救命課長より説明

質疑等なし

(3) 日勤救急隊の創設について(報告)

※消防総務課長より説明

質疑等

委 員 : 日勤救急隊は、毎日同じ隊員が勤務することになるのでしょうか。

消防総務課長 : 配置された人員の中で、ローテーションをとりながら運用します。子育て中や定年延長による職員など、様々な働き方へ対応することができます。

(4) 消防団第6分団車庫詰所の建替(概要)について

※警防課長より説明

質疑等

委 員 : 建替期間中の第6分団はどのようになるのでしょうか。

警 防 課 長 : 現在は現地で稼働をしておりますが、建替により建物の解体を行う際は、消防署北分署内への仮配置を予定しています。

5. 閉会